



御文をいたたく 其の四七

五帖目第五通⑦

信心獲得すというは、第十八の願をこころうるなり。この願をこころうるというは、南無阿彌陀仏のすがたをこころうるなり。このゆえに、南無と帰命する一念の処に、発願回向のこころあるべし。これすなわち弥陀如来の、凡夫に回向しますすこころなり。これを『大經』には「令諸衆生功德成就」ととけり。されば無始已來つくりとつくる悪業煩惱を、のこるところもなく、願力不思議をもって消滅するいわれあるがゆえに、正定聚不退のくらいに住すと成り。これによりて、煩惱を断ぜずして涅槃をうといえるは、このこころなり。此の義は当流一途の所談なるものなり。他流の人に対して、かくのごとく沙汰あるべからざる所なり。能く能くこころうべきものなり。あなかしこ、あなかしこ。

ここには信心をいたたくと自分が作りについた悪業煩惱を弥陀のお力によつて消滅するのだと書かれていす。しかし私たちはどれだけ自分に悪業煩惱に満ちた身であるという自覚があるでしょうか。また、悪業煩惱に満ちた身であるとは知っていてもそのことがどれだけ自分にとって大きな問題だと感じているでしょうか。なくしたいと本当に思っているのでしょうか。この思いが私たちに欠けているからお念仏を称える生活がでなかつたりお念仏の救いを疑ってしまうのではないのでしょうか。

お念仏は本流ではなくて修行を最後まですることが困難になった人のために用意されたものだとして理解され来ました。ある意味昔見たゴレンジャーなどの戦隊物の必殺技のようなものと考えてもいいのかも知れませんが。漫才のネタにもなったことですが、必殺技を最初から使えばすぐに悪者をやっつけられるのですが、

しかしいつも番組が終わる頃にようやく使います。これはなぜでしょうか。番組を時間通りに終わらせるためということもあるのでしょうか。最初の頃は必殺技を使わなくても勝てるという自信があつたからではないでしょうか。このままではヤバイ、必殺技を使わないとやっつけられないという自覚が湧いてきて初めて使うのではないのでしょうか。私たちはお念仏に対しても似たようなことを思っ

ているからなかなかお念仏を称えられないように思いますが。お念仏を称えなければ私はたすからない。阿彌陀仏を信じお念仏を称えないと今わたしにある悪業煩惱はなくならないという危機感というものがお念仏を称える大切なきっかけになるのではないのでしょうか。



日時 4月7日(土)
 時間 午後1時30分より
 会場 乗福寺(中老田)

主催 老田仏教会

花まつり

ご命日の集い

三月から再開します

3月28日午後1時30分よりはじめま〜す

ご命日の集いとは私たちの宗祖、親鸞聖人のご命日である二十八日に開催する仏事です。常入寺では三月から九月の間の毎月二十八日に勤めています。何をやっているのかといえば、実は難しいことは何ともありません。宗祖親鸞聖人がお造りになられた「正信偈」といううたをみんなで節を付けて読んで、後はお茶を飲んでいただけです。

それだけです。皆さんも月に一度お寺に集い茶話会しませんか？

どうぞお気楽に顔をお見せ下されれば幸いです。お待ちいたしております。

三月は城端別院巡回法座と併せてつとめさせていただきます。

毎月二十八日午後二時〜三時（三月は一時半〜三時半）ぐらいまで
とにか〜一回来てくださるはれまっ！

まっとっちゃあ〜



**井波別院
法宝物巡回法座
がつとまりまし
た**

2月6日、井波別院の巡回
布教を当寺でお受けさせてい
ただきました。布教使は高岡
市の清水芳隆さんでした。

午前中はあいにくの大雪の
ため、お参りに来られた方は
当然多くはなかったですが、
反対にお参りが少ないからこ
そアットホームな感じで聴聞
できました。

今月は28日に午後から一座
ですが城端別院の巡回法座を
お迎えしますので皆様是非お
参りください。



椅子を貸し出します



常入寺には参詣用にお座敷用のいすが40脚以上あります。ご法事の時など足の悪い方々のためにこの椅子をお貸しもさせていただいています。（但し、お寺の行事がない時）
ぜひご利用ください。また皿、コップ、大鍋などもお貸しできます。

貸出料は無料です

発行

真宗大谷派 常入寺

電話 九三〇一〇一六
一富山市東老田七八七
（〇七六）四三六〇八一六
住職携帯 〇九〇一三七六四一三九八四
発行責任 青井 和成



LINEはこちらから

